

東の宝たちの健やかな成長を願う校歌の言葉 (4つの小学校の思いを込めた歌詞を見つめてみよう)

天草市立本渡東小学校校歌

一 群青深き 瀬戸の海

潮の香たちて さわやかに

心は清し 友情の

明るく強く 手をつなぐ

我ら 東の宝たち

伸びよ 我らの 本渡東小学校

瀬戸

二 空より高き 志し

沸き立つ望み とうとうと

英知を磨き ひとすじに

明日に向かって 学びゆく

我ら 東の宝たち

翔べよ 我らの 本渡東小学校

志柿町

三 歴史を刻む 石の里

蜜柑まぶしき 学び舎に

未来の息吹き 鼓動して

夢萌え生きる たくましく

我ら 東の宝たち

発てよ 我らの 本渡東小学校

下浦町

鮮やかな藍色に輝く瀬戸の海が目の前に広がっている。
遠く雲仙からの風によって潮の香りがやってくる。
なんと心地よい風だろう。
海の色、潮風のように清らかな心もち、素直に、そして、
明るく強く、生きてほしい。
思いやりの心もち、友だちと力を合わせる子どもになろう。



子どもたちが心に抱く志しは、空よりもっと高く、とても大きなものである。
みんなの夢や希望は、とどまることなく勢いよく湧き出てくる。
夢実現のために、自分から進んでまじめに勉強していこう。
明日の夢に向かって、自分のいいところをしっかりと伸ばして
いく子どもになろう。



昔から良質な砂岩の下浦石を使った産業が栄えていた。
この地域は、全国で活躍する石工の町として有名だった。
陽を浴びて輝くミカンやポンカンなどが実る自然豊かな中に
私たちの校舎がある。
未来の夢に向かって、力強く取り組む姿に、躍動感を感じる。
心も体もたくましく、粘り強くがんばる子どもになろう。

